

# 「人間尊重の教育」の推進



## 札幌市の子ども現状

令和元年度「全国学力・学習状況調査」から(数字は肯定的な回答)

項目	小学校	中学校
学校のまわりを守っている	91.0%	95.6%
人の役に立つ人間になりたいと思う	94.6%	93.7%
<b>自分には、よいところがある</b>	<b>78.2%</b>	<b>73.5%</b>

子どもの自己肯定感を一層高めていく必要がある。多様な体験活動を通して、他者や社会、自然や環境と直接的な関わり合いをもつ機会を充実させ、他人を思いやる心や生命を尊重する心を育むことが重要。

## 私たちの身の回りにおける人権課題

女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、アイヌ民族、外国人、HIV感染者・ハンセン病患者等、インターネットによる人権侵害、拉致問題、性的指向、性自認を理由とする偏見・差別等

## 人権教育に関する 手引及び指導資料

- ◆アイヌ民族の歴史・文化等に関する指導資料 (札幌市教育委員会)
- ◆性に関する指導の手引 (札幌市教育委員会)
- ◆子どもの権利に関する指導の手引 (札幌市教育委員会)
- ◆大切にしよう子どもの権利
- ◆みんなで考えよう子どもの権利 (札幌市子ども未来局)
- ◆みんなの個性が輝くまちへ (札幌市市民文化局)
- ◆心のバリアフリーガイド (札幌市保健福祉局)

## 豊かな心の育成

子どもが互いに尊重し、支え合いながらよりよく生きようとする態度を育むとともに、他者を思いやる心や生命を尊重する心等の豊かな心の育成を図る。

「人間尊重の教育」を教育課程に位置付け、1人1台端末を活用した系統性・連続性のある指導の充実を図る。

特別の教科 道徳      各教科      総合的な学習の時間



## 人権教育推進事業 研究推進校

○アイヌ文化の体験的学習

○子どもの権利に関わる学習

○性に関する学習

○人権尊重の意識を育む学級経営

○人権教育を基盤とした学校づくり等

## さっぽろっ子「学び」の スズメの活用

家庭の取組

学校の取組



学校・家庭・地域が「人間尊重の教育」のねらいや取組を共有し、一体となって豊かな心の育成を図ることが重要。

## 人権教育に関する教職員 向け研修の充実

- ◆民族教育に関する研修 (アイヌ文化について学ぼう)
- ◆札幌市民族教育に関する研修
- ◆性に関する指導についての研修 (薬物乱用防止教育の現状と取組)
- ◆男女共同参画に関する研修 (自殺予防教育～学校の中の性同一性障がい子どもたち～)
- ◆子どもの権利に関する研修 (子どもの権利を大切にした教育の実践)
- ◆札幌市人権教育フォーラム

## 「人間尊重の教育」に向けた三つの視点

### 視点1

校種間の連携による連続性のある人間尊重の教育に向けた取組の推進

### 視点2

教師自らの人間尊重の意識の向上

### 視点3

子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手だての構築